

令和5年度
小論文
(生活科学科 食物栄養専攻)

9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は4ページで、解答用紙は提出用と下書き用が1枚ずつあります。1枚は下書き用として使用してください。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- 6 解答用紙の提出用・下書き用はいずれも回収します。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

課題

食べ物を食べる上で「かむ」ことは大変重要である。「健康日本 21（第二次）」における口腔機能の維持・向上（何でもかんで食べることができる者の割合の増加）の目標値は 60 歳代で 80%としている。厚生労働省の平成 29 年の国民健康・栄養調査の結果によると、「何でもかんで食べることができる」者の割合と 20 歯以上歯を有する者の割合は図 1 の通りであった。また、図 2 は 60 歳以上の年齢別において、かんで食べる時の状態別の低栄養傾向の者（BMI ≤ 20kg/m²）の割合の結果である。

図 1 と図 2 からどのようなことが読み取れるか、具体的に数値を用いて述べなさい。また、これらの資料から低栄養傾向にならないためにはどのような方法が考えられるか、あなたの考えを述べなさい。合わせて 800 字以内とする。（数字は 1 マスに 2 つまでとすること。）

注：BMI【Body Mass Index（体格指数）】

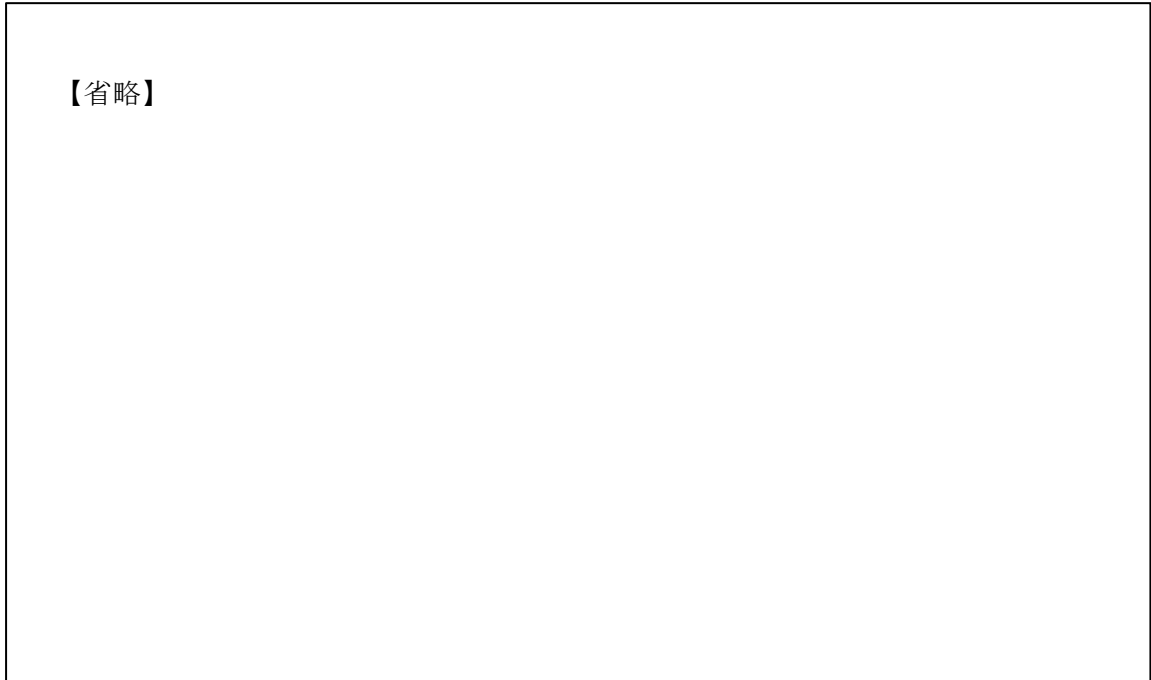
【体重（kg）】÷【身長（m）の 2 乗】として算出され、肥満や低体重（やせ）の判定に用いられている。基準では 18.5 未満が「低体重（やせ）」、18.5 以上 25 未満が「普通体重」、25 以上が「肥満」となる。

図 1 「何でもかんで食べることができる」者と歯の保有状況
（20 歳以上，男女計・年齢階級別）

【省略】

（厚生労働省『平成 29 年国民健康・栄養調査結果の概要』2018 年，p. 14 より作成）

図2 かねで食えるときの状態別，低栄養傾向の者（BMI ≤ 20kg/m²）の割合
（60歳以上，男女計・年齢階級別）



注1：「何でもかねで食えることができる」以外の者は，かねで食えるときの状態について，「一部かめない食べ物がある」，「かめない食べ物が多い」または「かねで食えることはできない」と回答した者。

注2：「75歳以上」のデータは，「80歳以上」のデータを含んでいる。そのため，「80歳以上」には（再掲）と表記している。

（厚生労働省『平成29年国民健康・栄養調査報告』2018年，p.182より作成）

